

私立小・中学生に対する尾張旭市私立学校修学支援事業補助金制度の復活を求める

陳 情 書

《陳情事項》

私立小・中学生に対する私立学校修学支援事業補助金を復活してください。

《陳情の趣旨》

日頃より、私学教育へのご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

本年度より、国は高等学校等就学支援金の所得制限を撤廃して、私立高校の授業料が無償化されます。そして愛知県では、全国で唯一、入学金も所得制限をなくして無償化されました。これは、長年に渡り、私立学校修学支援事業補助金を制度として実施していただいたり、私たちの陳情を受け入れて国や県に意見書を提出していただいたりした尾張旭市・尾張旭市議会のみなさまのご尽力の賜物であると思っております。本当にありがとうございました。

このことで、「高等学校等においては、家庭における教育費の負担軽減が、国の制度をもって、十分に図られるものと判断」され、私立高校生への私立学校修学支援事業補助金が廃止されたことは理解できます。

しかし、これに伴い、「小学校、中学校においては、これまでの申請状況を踏まえ、事業の成果、妥当性など、総合的に判断」され、私立小・中学生への私立学校修学支援事業補助金が廃止されたことについては、残念でなりません。尾張旭市の私立学校修学支援事業補助金は、私立高校生だけではなく、私立小学生、私立中学生も対象となるものであり、これは、他の市町村にはない、尾張旭市が誇ることのできる画期的な制度でした。実際、私たち私学をよくする愛知父母懇談会で、各市町村の私学助成について交流する際には、他市町村在住の保護者から、尾張旭市が私立小・中学生も対象にしていることに対して羨望の声が多く聞かれました。また、私立学校修学支援事業補助金の申請は、学校を通して書類が配布されるため、私立中学校の教室で、尾張旭市在住の生徒にのみ補助金申請の書類が配布されることへ、他市町村に在住の生徒から驚きの声が出ているとの話もあります。このように、小・中学生も対象としている尾張旭市の私立学校修学支援事業補助金は、ただ、私立小・中学校へ子どもを通わせる家庭への支援をするものというだけではなく、尾張旭市が子育て・教育を大事にしていることを広く周知することのできる素晴らしい制度です。実際の申請状況がいかなるものであったとしても、この制度が存在すること自体が、「まちづくりの基本方針」において『自分らしく』を応援します』『子育てしやすいまち』の魅力を高めます』を掲げ、「こどもがすくすく成長するまち」「豊かな心と知性を育むまち」を「基本目標」に掲げている尾張旭市において、それらを具現化する一つとして、大きな価値をもつものと考えます。

私立小・中学校に子どもを通わせる家庭の中でも経済的な負担の大きい家庭に対する学費負担の軽減を図るために、子育て・教育を大切にしている尾張旭市が他市町村と大きな違いを示すことができる誇るべき制度である私立学校修学支援事業補助金を復活していただきますようお願い申し上げます。

令和8年 8 月 6 日

代表

尾張旭市

住 所

氏 名

杉浦 尚子

取り扱い団体 私学をよくする愛知父母懇談会尾張旭ブロック



尾張旭市議会

議長 さかえ 章演 様